平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名　オプテックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6914　URL　http://www.optex.co.jp
代表者　(役職名) 取締役会長兼代表取締役社長　(氏名) 小林　徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長　(氏名) 東　晃　TEL 077-579-8000
四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日　配当支払開始予定日　平成24年9月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	10,183	9.2	535	△42.5	648	△38.9	222	△61.8
23年12月期第2四半期	9,323	14.2	931	23.0	1,061	42.4	583	38.2

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　394百万円　(△47.1%)　23年12月期第2四半期　745百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	13.47	13.47
23年12月期第2四半期	35.26	35.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	22,728	18,422	75.9
23年12月期	21,889	18,304	78.3

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　17,245百万円　23年12月期　17,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年12月期	—	15.00			
24年12月期(予想)			—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	17.8	1,700	1.4	1,850	1.1	1,020	△1.3	61.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	16,984,596 株	23年12月期	16,984,596 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	433,172 株	23年12月期	433,022 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	16,551,479 株	23年12月期2Q	16,551,806 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における経済情勢は、国内においては東日本大震災の復興関連需要も後押しし、緩やかながら回復の動きも見られましたが設備投資は低水準で推移するなど、先行き不透明な状況が続きました。

また、海外におきましても米国では個人消費や民間設備投資の伸びなどにより、緩やかな回復が見られたものの、欧州では財政危機の高まりとともに消費や投資意欲が減退し、景気の後退が続く厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、欧州景気の低迷、米国や中国の景気減速への懸念などから輸出は全体として厳しい状況の中、米ドルや欧州通貨に対しては依然円高水準となりました。当第２四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルでは前年同期の82円に比べ３円（2.8%）円高の79円、対ポンドでは同132円に比べ７円（5.2%）円高の125円、対ユーロでは同114円に比べ11円（10.0%）円高の103円となりました。

このような状況の中で、当社グループは新製品の開発と投入による既存事業の強化、新興国市場開拓への布石、大型施設を中心とする新たなアプリケーションの開拓など、事業活動を強化してまいりました。本年１月には顧客サービスの更なる向上を目指し、オランダアムステルダムにハブ倉庫を稼動させ欧州市場向けに商品供給を開始いたしました。また、第１四半期には画像監視カメラ用補助照明の製造・販売を行うRAYTEC LIMITEDを子会社化するなど事業領域の拡大を図ってまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は101億83百万円と前年同期に比べ9.2%の増収となりました。一方、利益面につきましては、販売地域や製品の構成比率が変化したことにより原価率が上昇、合わせてグループ各社の販管費が増加したことにより、営業利益は５億35百万円（前年同期比42.5%減）、経常利益は６億48百万円（前年同期比38.9%減）、四半期純利益は２億22百万円（前年同期比61.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高68億74百万円（前年同期比15.3%増）、営業利益３億60百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

防犯関連につきましては、売上高48億87百万円（前年同期比18.8%増）となりました。海外におきましては、主要市場である欧州向けでは長引く景気低迷と円高による影響を受けたものの、RAYTEC LIMITEDの業績寄与もあり、堅調に推移しました。国内におきましては、引き続き警備会社向け販売実績が好調に推移し、前年同期実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、国内では自動ドア設置台数が堅調に推移し、海外では欧米の大手自動ドアメーカーでのセンサシェアを伸ばした結果、売上高17億30百万円（前年同期比12.5%増）となりました。

② ＦＡ事業

ＦＡ事業は、設備投資抑制の影響を受け、受注が減少したことにより汎用機器及びアプリケーション機器ともに前年同期実績を下回りました。この結果、売上高は21億15百万円（前年同期比11.7%減）となり、営業利益につきましても、売上高の減少に伴う粗利益の減少により１億28百万円（前年同期比58.1%減）となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、好調な自動車産業に支えられ、特に車載関連部品の受託製品数量が前年度から大幅に増加したことにより増収となり、売上高は５億円（前年同期比111.8%増）となりました。営業利益につきましては、26百万円（前年同期比72.2%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は227億28百万円となり、前連結会計年度末と比べ８億39百万円増加しました。これは主に子会社買収によるのれんの増加等により無形固定資産が７億16百万円、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が２億26百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は43億５百万円となり、前連結会計年度末と比べ７億21百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加等により流動負債が６億94百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は184億22百万円となり、前連結会計年度末と比べ１億17百万円増加しました。これは配当金の支払等により利益剰余金が25百万円減少したものの、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が１億27百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して３億42百万円減少し、61億80百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は７億46百万円（前年同期は６億27百万円の獲得）となりました。これは主にたな卸資産の増加（１億40百万円）及び売上債権の増加（１億33百万円）による資金の減少があったものの、仕入債務の増加（１億43百万円）及び税金等調整前四半期純利益（６億６百万円）を確保したことにより資金増加となったものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は11億４百万円（前年同期は６億94百万円の使用）となりました。これは主に子会社株式の取得による支出（９億52百万円）及び有形固定資産の取得・売却（差引支出２億76百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は19百万円（前年同期は３億円の使用）となりました。これは主に為替ヘッジを目的とした短期借入金の増加（２億60百万円）があったものの、配当金の支払（２億55百万円）及び少数株主への配当金の支払（27百万円）による資金の減少があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成24年７月25日に公表いたしましたとおり、売上高は218億円（前年度比 17.8％増）を見込んでおります。また、収益性向上に取り組みつつ、継続的な成長を図る開発設計等の投資を行う予定であり、営業利益は17億円（前年度比 1.4％増）、経常利益18億50百万円（前年度比 1.1％増）、当期純利益10億20百万円（前年度比 1.3％減）を見込んでおります。なお、予想にあたりましては、当連結会計年度下半期（平成24年７月１日～平成24年12月31日）の平均為替レートを対米ドル80円、対ユーロ100円にて算定いたしております。

詳細は平成24年７月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,523	6,180
受取手形及び売掛金	3,803	4,141
有価証券	1,078	1,197
商品及び製品	1,721	1,831
仕掛品	82	71
原材料及び貯蔵品	877	1,069
繰延税金資産	408	368
その他	591	483
貸倒引当金	△20	△51
流動資産合計	15,066	15,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,191	1,157
機械装置及び運搬具（純額）	205	281
工具、器具及び備品（純額）	307	327
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	113	24
有形固定資産合計	3,022	2,993
無形固定資産		
のれん	102	812
その他	464	472
無形固定資産合計	567	1,284
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192	2,140
繰延税金資産	727	693
その他	361	369
貸倒引当金	△48	△46
投資その他の資産合計	3,232	3,157
固定資産合計	6,822	7,435
資産合計	21,889	22,728

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	788	1,102
短期借入金	194	459
未払法人税等	372	274
繰延税金負債	4	8
賞与引当金	68	88
役員賞与引当金	6	3
その他	817	1,010
流動負債合計	2,252	2,946
固定負債		
繰延税金負債	64	76
再評価に係る繰延税金負債	6	6
退職給付引当金	794	807
役員退職慰労引当金	450	452
その他	16	15
固定負債合計	1,331	1,359
負債合計	3,584	4,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	12,855	12,830
自己株式	△538	△538
株主資本合計	18,769	18,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67	△45
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	△1,569	△1,463
その他の包括利益累計額合計	△1,625	△1,498
新株予約権	3	7
少数株主持分	1,157	1,169
純資産合計	18,304	18,422
負債純資産合計	21,889	22,728

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	9,323	10,183
売上原価	4,502	5,215
売上総利益	4,821	4,967
販売費及び一般管理費	3,890	4,432
営業利益	931	535
営業外収益		
受取利息	34	28
持分法による投資利益	14	3
為替差益	3	35
受取賃貸料	9	9
保険返戻金	57	29
その他	32	20
営業外収益合計	151	127
営業外費用		
支払利息	1	1
投資事業組合運用損	6	1
賃貸費用	9	9
その他	3	2
営業外費用合計	21	14
経常利益	1,061	648
特別利益		
固定資産売却益	3	0
持分変動利益	0	－
投資有価証券売却益	0	4
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産除却損	2	4
持分変動損失	－	0
のれん減損損失	－	41
特別損失合計	2	46
税金等調整前四半期純利益	1,062	606
法人税、住民税及び事業税	433	276
法人税等調整額	△21	70
法人税等合計	411	347
少数株主損益調整前四半期純利益	651	259
少数株主利益	67	36
四半期純利益	583	222

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	651	259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	29
為替換算調整勘定	72	105
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	94	134
四半期包括利益	745	394
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	674	350
少数株主に係る四半期包括利益	71	43

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,062	606
減価償却費	208	256
のれん償却額	21	108
退職給付引当金の増減額（△は減少）	30	13
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	21	2
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	28
賞与引当金の増減額（△は減少）	9	20
受取利息及び受取配当金	△46	△37
支払利息	1	1
為替差損益（△は益）	△4	11
持分法による投資損益（△は益）	△14	△3
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△0	△4
固定資産除売却損益（△は益）	△1	4
のれん減損損失	－	41
売上債権の増減額（△は増加）	△287	△133
たな卸資産の増減額（△は増加）	△256	△140
仕入債務の増減額（△は減少）	198	143
その他	85	201
小計	1,028	1,121
利息及び配当金の受取額	51	39
利息の支払額	△2	△4
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△449	△409
営業活動によるキャッシュ・フロー	627	746
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,077	△449
有価証券の売却及び償還による収入	1,198	800
投資有価証券の取得による支出	△667	△257
投資有価証券の売却による収入	13	60
有形固定資産の取得による支出	△161	△277
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△28	△32
子会社株式の取得による支出	－	△67
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△885
貸付けによる支出	△11	△7
貸付金の回収による収入	9	10
その他	25	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△694	△1,104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△28	260
少数株主からの払込みによる収入	4	2
配当金の支払額	△248	△255
少数株主への配当金の支払額	△28	△27
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300	△19
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	35
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△310	△342
現金及び現金同等物の期首残高	6,343	6,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,032	6,180

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年１月１日　至　平成23年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	センシング事業	ＦＡ事業	生産受託事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,960	2,395	236	8,591	732	9,323	－	9,323
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	－	1,381	1,393	19	1,412	△1,412	－
計	5,971	2,395	1,618	9,984	751	10,736	△1,412	9,323
セグメント利益	501	305	15	823	104	927	3	931

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額３百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	センシング事業	ＦＡ事業	生産受託事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,874	2,115	500	9,489	693	10,183	－	10,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	－	1,346	1,356	42	1,398	△1,398	－
計	6,884	2,115	1,846	10,845	736	11,582	△1,398	10,183
セグメント利益	360	128	26	515	26	542	△6	535

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△６百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
「その他事業」セグメントにおいて、株式会社ジーニックに関するのれんについて、株式取得時に事業計画で想定していた収益が見込めなくなったことから全額減損損失としております。なお、当該事象によるのれんの減損額は41百万円であります。